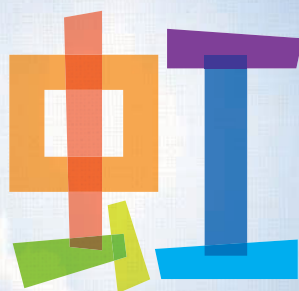


co-op

三重の生協の
今を伝える

みえの



No.122

2019年8月

三重県生活協同組合連合会

〒514-0009 三重県津市羽所町379
TEL.059-228-9913 FAX.059-228-9915

三重県生活協同組合連合会 第43回通常総会開催

が参加し、2018年度活動のまとめや2019年度活動計画、予算等を確認しました。

上野会長理事の挨拶で開会し、西川専務理事より議案が提案されました。当日の発言では、会員生協や、三重県生協連の委員など7名からの活動報告等があり審議を深めました。

また、理事会より三重県生協連「SDGs推進宣言」を大野理事が報告し、最後に堀尾副会長理事の閉会宣言で終了しました。

2019年6月26日、三重県教育文化会館にて第43回通常総会を開催しました。代議員総数33名中、本人出席20名、代理出席1名、書面議決12名



▲総会挨拶
三重県生活協同組合連合会
上野達彦会長理事

三重県生協連「SDGs推進宣言」

SDGsは、世界中の人々が将来にわたって安全で、安心して生活していけるための目標です。経済の成長、誰も置き去りにしない社会、環境汚染・環境破壊の防止、という3つの主要な要素を調和させ、すべての人間が、豊かでよりよい生活を送れ、自然と調和した経済と社会の実現を目的としています。

三重県生活協同組合連合会は、戦争と核兵器のない平和な社会の構築と、将来にわたって持続できる生産と消費、気候変動への対策、環境保全と環境保護の取り組みを、協同組合どうしや消費者のみなさんと、一緒にすすめます。

私たちは、SDGsの取り組みを通して、人と人とのつながりや、協同の力を、よりつよい絆でつなぎ、貧困をなくし「誰ひとり取り残さない」、将来にわたって安心して暮らせる社会づくりをすすめ、「平和とよりよい生活」の実現に努めます。



すべての議案が満場一致で可決されました。

- 第1号議案 2018年度のまとめと決算並びに剰余金処分案の件
- 第2号議案 2019年度活動方針と予算案決定の件
- 第3号議案 役員報酬決定の件
- 第4号議案 役員(理事9名、監事2名)選任の件

総会終了後、第43回通常総会記念講演として、三重県環境学習情報センター・センター長の佐野正和氏を講師にお迎えし、「環境学習の観点から考えるSDGs～持続可能な地域社会づくりにむけて」と題してご講演をいただきました。時代や社会の変化と共に環境問題は変化し、取り組むべき課題も多様になってきており、問題解決には国際的な取り組みと、一人ひとりの意識と行動の変革が必要、みなさんと一諸に考えながらSDGsに取り組みましようとお話いただきました。



一人は万人のために 万人は一人のために

生活協同組合
コープみえ

みえ医療福祉
生活協同組合

三重県学校
生活協同組合

三重大学
生活協同組合

三重短期大学
生活協同組合

三重県立看護大学
生活協同組合

三重県労働者共済
生活協同組合

2019年6月1日、三重県教育文化会館で、毎年6月14日に開催される「ハート平和行進」のキックオフとして開催しました。41名が参加し平和への想いを深めました。オープニングに三重県立久居農林高等学校の生徒たちが作成した「つなぐー記憶のバトン」のDVDの上映をしました。

講演では、第1部「三重と第五福竜丸」と題して、都立第五福竜丸展示館主任学芸員・公益財団法人第五福竜丸平和協会事務局長の安田和也氏に、水爆実験によって被害を受けた第五福竜丸の実相や、三重県と第五福竜丸とのゆかり、第五福竜丸が語る平和の願いを、丁寧に分かりやすくお話しいただきました。

第2部2019年原水爆禁止国民平和行進・全国通し行進者の山口逸郎氏(87歳)を東京からお迎えし、「国民平和行進がつなぐ平和の願い～国民平和行進にむけて勇気と元気と情熱を～」と題し講演をいただきました。映画作家として平和の願いを込めた作品のご紹介や、6月8日から三重県内での国民平和行進の通し行進者として参加する意気込みを力強く語られました。



安田和也氏



山口逸郎氏

最後に主催者団体による「つなぐバトン」として活動などのリレートークをおこない、ハート平和行進に向けて想いを一つにしました。

2019年6月14日(金)、雨交じりの中、全岐阜県生協連から三重県生協連へのピースリレー引き継ぎ集会から始まり、出発集会、平和行進、終結集会、通し行進者の方との懇親交流会をおこないました。平和行進の出発時には、今年初めて津市お城西公園～津市内(行進)～三重県勤労者福祉会館の道中にある「塔世橋」の被弾後の紹介をしました。



支援活動

3.11を忘れない
—まち・住まい・コミュニティ—

被災地のいま
みやぎ生協・コープふくしまから
宮城・福島のいまをお伝えします

第71回2019年7月5日

ついの住处、仮の住まい。どの被災者にも地域で安心して生活できる環境を。 福島県南相馬市社会福祉協議会

「様子を伺いに訪問したら、“10日ぶり”に人と喋った」という方がいました。

黒木洋子さん(南相馬市社会福祉協議会生活支援相談室長)は、孤立しがちな被災者の現状について、そう語ります。

「南相馬市内の復興公営住宅はどこもまだ自治会がありません。住民同士の自発的なコミュニティ形成もなかなか進まなくて…」。

県営の復興公営住宅には、原発事故で南相馬市に避難してきた浪江町や双葉町など他町村の人たちが多く入居しています。

故郷のほとんどが居住制限区域や帰還困難区域になっていることから、南相馬市をついの住处と決めて家を建てた人がいる一方で、「ここは仮の住まい。いつかは故郷に戻る」と思っている人もいます。

避難して8年が経ちますが、暮らしはまだ流動的で、新たなコミュニティをつくる雰囲気も環境も整っていないのが現実です。

「自治会がないと困るのは被災者です。避難先で話し相手がなく孤立する。どこに誰が住んでいるか把握できず、ニーズが埋もれてしまう。私たちの被災者支援活動も復興が進むにつれて形を変えていきます。“住民だけでは何もできない”と

ならないよう、自治会立ち上げを支援し、様々なイベントを通して、コミュニティを育んでいきたい」。

被災者が地域で安心して生活できるように支援するのが、黒木さんたち生活相談支援室の仕事です。

「世帯分離や地域分断から来る寂しさ、外出機会の減少、高齢者の身体機能の低下。支えなければならないことがたくさんあります」。

なかでも黒木さんたちが今、気になっているのが、生活困窮に陥りそうな人たちの存在です。

「50代、60代のちょうど働き盛りの方々。勤務先が原発事故で移転・撤退し、失業。新たな職を得ても頭と体が追いつかず、心が折れてまた働き口を失う。賠償金も底を突く。免除されていた家賃や税金も払うようになる。そうになったらどうやって生活していくのか。注意して見守っていかねばと思っています」。

「原発事故が課題を深く複雑なものにしている」と黒木さん。そうした背景を踏まえながら「地域ごとの課題をどう解決していくかが、私たちの次の課題」と、前向きな笑顔を見せます。



▲南相馬市社会福祉協議会生活相談室の皆さん。向かって右一番手前が室長の黒木洋子さん。「職員はつねに被災者に気持ちを寄せている。それだけに、被災者を支援する職員の心のケアも大事だと思っています」。



▲県の復興公営住宅は市内に5カ所。棟ごとに管理人と呼ばれる住民の代表がいて、サロンや趣味の活動などに熱心に取り組んでいるところもあります。また南相馬市には市が整備した災害公営住宅もあります。

活動報告

消費者市民ネットワークみえ 第2回通常総会を開催しました。

2019年7月20日(土)、三重県教育文化会館にて消費者市民ネットワークみえ第2回通常総会を開催しました。第2回通常総会では、“2018年のまとめと会計報告”“2019年度活動方針と予算案”“活動費補助基準制定の件”“役員の選任”の第1号議案から第4号議案を提案、すべて満場一致で可決されました。次に消費者被害防止ネットワーク東海の副理事長で弁護士の荻原典子氏より「ジャニーズ、KDDI、ライザップetcこれまでに、沢山の約款や広告を改善！奮闘する適格消費者団体」と題して、ご講演をいただきました。その後、参加者どうして懇親交流会を行い、消費者市民ネットワークみえへの期待やこれからのこと、カフェの持ち方などについて話題が上がり、楽しく交流しました。



荻原典子氏



懇親交流会



2019年度 世話人の方々

講演会報告

私たちのくらしからみる 食の安全と安心 ～添加物をめぐるウソ、ホント?～



2019年7月6日(土)、四日市のじばさん三重で科学ジャーナリストの松永和紀氏をお招きし「私たちのくらしからみる食の安全と安心 ～添加物をめぐるウソ、ホント?～」というテーマで三重県食の安全・安心研修を開催しました。

三重県生活協同組合連合会、生活協同組合コープみえ、三重県の3者による共催で、企画しました。当日は166名の参加があり、添加物やアクリルアミドについて、そしてバランスの良い食事をとのお話があり、松永氏の講演にみなさん熱心に耳を傾けていました。途中、コープみえ組合員理事の田端さんによる脳トレリフレッシュ体操のあと、会場からの質問、離乳食のレトルトや、発がん性物質について松永氏より質問にお答えいただきました。参加者から「テレビや雑誌の情報に踊らされてはいけない」「もっと勉強しないといけない」「添加物は量が問題ということが分かった」等、たくさんの感想が寄せられました。



お知らせ

2019年10月より三重大学で協同組合論が始まります

2016年に三重大学で特殊講義「協同組合論」を開講してから3年が経過しました。この講義を通して、学生は協同組合への理解を深めるとともに、協同組合に対する見方にも変化が現れています。また、協同組合の職員においても学びの場として活用されています。

このような成果を踏まえ、三重県生協連は三重大学での特殊講義「協同組合論」を、2021年まで3ヶ年の継続を基本に開講を支援することとなりました。三重大学の学生が、協同組合について学ぶことで、地域や社会、人と人とのつながりの大切さへの理解を広げていただけるのではないかと期待しています。

尚、今年の特徴として三重県協同組合連絡協議会からの登壇の他、初めてシンポジウム的な講義を開催する計画をしています。

報告

国際協同組合デー記念 ワンコインコンサート vol.100

国際協同組合デーを記念して毎年、三重県協同組合連絡協議会(JA、生協、漁協、労福協、中小企業団体中央会)が協賛して500円で音楽の世界が聞けるワンコインコンサートを開催しています。2019年7月11日に三重県文化会館にてヴァイオリン奏者の中村太地氏、ピアノ演奏佐藤卓史氏のコンサートが行われました。

約1000名の方の来場者があり、三重県協同組合連絡協議会の会員団体はロビーにてパネル展示をし、SDGsやそれぞれの取り組みなどを紹介しました。





組合員の学習会の様子



全事業所に
ポスター掲示で啓発

コープみえのSDGs

コープみえでは、「第17回通常総代会（6/13）」において“コープみえSDGs行動宣言”を特別アピールし、誰もが笑顔でくらすことができる社会を願い、持続可能な開発目標（SDGs）の実現に貢献していくことを宣言。SDGsを実現するための7つの取り組みを掲げ、組織と地域の中にSDGsをひろげあい推進していくことを確認しました。

これまでは、先ずSDGsのことを知り合うことから、理事会や職員集会での学習、組合員のエリア会での学習会や広報誌・HPでの紹介など行ってきました。総代会での宣言を終え、SDGsの目標を実現していく中長期目標の組み立てと次の推進展開をたどいま具体化中です。

三重県生活協同組合連合会 上野会長理事（連載）

虐待をとめるのは誰か

地震、大雨、異常高温といった異常気象などの自然災害が国を超えて数多く発生している。これらの自然災害に加えて、人間の社会・家族のありようにも変化があらわれている。幼児虐待、親殺し、子殺しなどが多発している。そして高齢者による犯罪も多い。

千葉県野田市で発生した女兒（小学4年、10歳）虐待は悲惨だ。しかも、子どもが発するシグナルを他の家族、児相や警察などの行政機関のこれを受け止めることができなかった、否、しなかった。その結果、女兒は死亡した。この事件の場合、子どもが発するシグナルは明快である。学校が行ったいじめ調査のアンケートにこの女兒が書いた一文がある。「お父さんに暴力を受けています。夜中に起こされたり、起きているときに蹴られたり、たたかれあたりされています。先生、どうにかできませんか」これこそ、明快な女兒からのメッセージではないか。これが児相などからの結論「もう問題はない」ことであろうか。

この事件のことをこのまま一つの事案として大量の情報渦のなかに投入することはできない。このような事件が起こるたびに、行政機関（児相や学校など）からの「お詫び」の記者会見が開かれ、担当者が頭を下げて終わりである。わたしは、このような映像を見るたびに、思うのだが、「人間の理性が壊れていく」ことに怒りを超えて寂寥感すらおぼえる。

千葉県は、平成29年4月1日施行の「千葉県子どもを虐待から守る条例」を作成したが、罰則はなく、人の生命をまもるにはまだ弱い。



理事会 だより

2018年度第7回

協議決定事項

- ・2018年度決算（案）の確定について
- ・2018年度剰余金処分（案）の件
- ・第43回通常総会 議案決定の件
- ・2018年度役員研修のまとめと次年度について
- ・SDGsにかかわる生協連の役割とすすめ方について
- ・沖縄県辺野古への新基地建設中止の意見書提出について

報告事項（抜粋）

- ・2019年4月度決算報告
- ・第43回通常総会後の講演会について
- ・三重県食の安全・安心研修会の共催について
- ・消費者市民ネットワークみえ第2回定期総会開催について
- ・「全国環境セミナー2019」への後援について
- ・ワンコインコンサートへの協力について
- ・2019年度消費者月間記念講演会への出席報告

2019年5月29日（水）
10:30～12:00
生活協同組合コープみえ本部
3階役員室

2019年度第1回

協議決定事項

- ・役付理事互選の件
- ・代表理事選定の件
- ・2019年役員報酬について
- ・アメリカ合衆国における臨界前核実験に対する抗議について

報告事項（抜粋）

- ・専門委員会とプロジェクトチームの設置及び、委員などの選出について
- ・2020年NPT再検討会議生協代表団への参加にむけて
- ・2019年5月度決算報告
- ・2019年ピースアクションinヒロシマへの参加について
- ・三重県／食を担う農業及び農村の活性化に関する基本計画に係る懇話会への委員就任について
- ・2019年ハート平和行進開催報告

2019年6月26日（水）
16:30～16:50
生活協同組合コープみえ本部
3階役員室